

高い汚染数値確認

神西湖の環境保全に取り組んでいる住民団体「神西湖環境プロジェクト」(黒目益宏会長)が3月17日、神西湖流入河川の水质一斉調査を行いました。2回目の調査となる今回は、昨年8月の前回調査と比較して河川の水量が少なく、高い汚染数値を示しました。

調査には小学生親子20人を含む地域住民ら59人が参加。出雲市神西沖町の神西コミュニティセンターで調査方法について説明を受けた後、4班に分かれて後谷川、常楽寺川、十間川、保知石川などの15地点を实地調査しました。神西コミュニティセンターに持ち帰った水を検査した結果、川の汚れの指標となる化学的酸素要求量は、15地点の内9地点で前回より高く、保知

住民が2回目の水質調査

出雲・神西湖流入河川

石川(知井宮町地点)では1リットル中7リットルと一般的な河川の1〜2リットルに比べ約3.5倍〜7倍を計測。有機汚濁の程度を示すアンモニア態窒素も15地点の内9地点で前回より高く、最も高かった保知石川(古志町地点)では1リットル中10リットルと一般的な河川の0.01リットルを計測しました。保知石川は住宅街を流れる河川で、各家庭の浄化槽からの排水が汚れの原因と見られます。

調査に参加した神西地区土木委員長の小野徳次郎さん(81)は「集落排水処理場の下流ではヨシが生えない状況になっている。将来に向けて、地域をあげて環境を見直す道筋を作っていくことが大切だ」と話していました。

この日の最後には、参加した小学生に黒目会長(81)から修了証が渡されました。「とても汚れていた川があったので驚いた。ごみを拾ったりして少しでも川をきれいにしていきたい」と話したのは、前回に続いて参加した石橋咲さん(当時4年生)。初めて参加した花田響くん(当時4年生)は「みんなと協力してしっかり調査できた。思っていたより川が汚いことが分かった」と感想を述べました。

黒目会長は「水量が少ないと汚染が進むことがはつきりした。環境への住民意識は少しずつ高まっているので、次は行政と一緒に学習会を開催していきたい」と話していました。



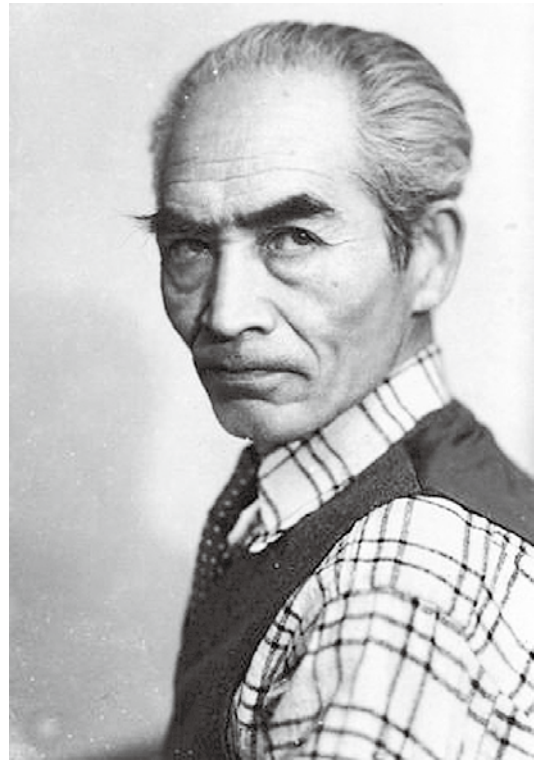
水質検査を行う参加者。3月17日、出雲市神西沖町の神西コミュニティセンター

シリーズ

郷土の偉人

21

世界で初めて缶コーヒーを販売



(写真提供・浜田市)

三浦義武

今から約60年前の1965年、コーヒーをこよなく愛した三浦義武は、世界で初めての缶コーヒー「ミラ・コーヒー」を販売しました。ネルドリップ(※)を極め、全国にコーヒー文化を発展させた偉人です。

義武は、1899年浜田市に生まれ、中学を卒業後上京し早稲田大学へ進学しました。卒業後、東京・日本橋でコーヒー豆のひき売りを始めると、研究を重ね、ネルを使った独自の手法で香り高いコーヒーを作り出しました。

1935年「三浦義武のコーヒーを楽しむ会」を開催すると文化人などから大評判になりました。その後、戦争によりコーヒー豆の輸入が禁止になるに帰郷し、コーヒー店「ヨシタケ」を

開店しました。缶詰の盛んな浜田で、缶コーヒーの開発に取り組み、1965年に東京三越本店で缶コーヒーの販売を始めました。売れ行きは良く翌年からは関西地方でも販売されました。3年後、製造を中止すると「ヨシタケ」の一店主としての日々を送り、1980年に亡くなりました。現在でも浜田市では、その味を受け継ぎ「コーヒーの薫るまちづくり」に取り組んでいます。

※：コーヒーの抽出方法の1つです。「ネル」と呼ばれる布製のフィルターを使用し、コーヒーをいれます。ネルは「フランネル」の略で、柔らかく軽い繊維物の事です。



胃カメラ・大腸カメラ

小学生の定期予防接種も受付中

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	/	○	/

永岡内科医院 院長 永岡 真

お問い合わせはお気軽に

出雲市 塩冶町1156 ☎0853-31-9963

URL <https://www.nagaokanaika.info/>



しょうにかないか 小児科・内科

いりょう あしざわ いん 医療法人 芦沢医院

あしざわ たかお 芦沢 隆夫

いずも しえん やちよう 出雲市塩冶町852 TEL(0853) 22-8228

みもりキッズ・ファミリークリニック

院長 南 憲明

〒693-0051 島根県出雲市小山町442-2 TEL:0853-25-8860/FAX:0853-25-8870 ホームページ <https://www.mimori-kids.jp/>

